

# ふじだな

## まちがえても大丈夫

新しい学年が始まり、およそ1か月が経ちました。子どもたちは、教室での過ごし方、授業への向かい方など、成長が感じられるようになってきました。

さて、4月20日の全校朝会では、「まちがえても大丈夫」ということについて話をしました。子どもたちにぜひ大切にしてほしいのは、「まちがえても大丈夫」であること、そして「チャレンジすることが大切である」ということです。



子どもたちは、学習の中で自分の考えをもち、友達に伝えようとします。しかし、新しいことに挑戦する中では、思うようにいかないことや、いわゆる「まちがい」と感じる場面も出てきます。これまでであれば、「まちがえたらどうしよう」「自信がないから発表しないでおこう」と考えてしまうこともあったかもしれません。

しかし、学びの中で、まちがいは決して特別なものではありません。むしろ、新しいことに挑戦しているからこそ生まれる、大切な一歩です。はじめからすべてがうまくいくことは少なく、考えたり試したりする中で、うまくいかないことや迷うことがあるのは自然なことです。

例えば、算数科の授業では、ある子どもの考えがきっかけとなり、「ここまでは同じだけれど、この先はどうなるのだろう」「別のやり方もありそうだね」と、話し合いが広がっていきます。一見するとまちがいに見える考えであっても、そこから学びが深まる場面が多く見られます。

また、国語科や他の教科においても、自分の考えを伝えたり、友達の考えを聞いたりしながら、「なるほど」「そういう見方もあるんだね」「自分とは少しちがうけれど、おもしろいね」といったやり取りが生まれ、互いの考えを認め合う雰囲気は少しずつ育っています。こうした安心できる環境があることで、子どもたちは、まちがいをおそれずに発言し、挑戦することができる

ようになっていきます。自分で考え、友達と関わりながら学びを深めていく経験は、これからの学びの基盤となる大切な力です。

大切なのは、「まちがえないこと」ではなく、「あきらめずに考え続けること」です。どうしてそう考えたのかを振り返ったり、友達の考えを聞いて「なるほど」と気づいたりすることで、学びは少しずつ深まっていきます。一度の正解よりも、試行錯誤の積み重ねの中で得られる気づきの方が、より確かな力となっていきます。

(※裏面に続く)



(※表面より)

また、まわりの人の存在もとても大切です。友達の考えを笑わずに聞くこと、「いいね」「おもしろいね」と受け止めること、そのような関わりがあることで、「話してみよう」「やってみよう」という気持ちが生まれます。安心して挑戦できる場があるからこそ、子どもたちは一歩前に進むことができます。

「まちがえても大丈夫」と感じられること、「やってみよう」と思えることは、これからの学びだけでなく、さまざまな場面で大切になる力です。すぐにうまくいかなくても、何度でも考え直し、挑戦していく。その積み重ねが、一人一人の成長につながっていきます。

ご家庭におかれましても、「正解だったかどうか」だけでなく、「どのように考えたのか」「どんなことに挑戦したのか」といった過程にも目を向けていただければと思います。「やってみたことがすばらしいね」といった言葉が、子どもたちの自信や次への意欲を育てていきます。

これからも子どもたちが安心してチャレンジし、自分の力を伸ばしていけるよう、見守ってまいります。



## のだっこ Diary

★子どもたちの学校生活のようすは、本校ホームページでも紹介しています。随時更新していますので、ぜひご覧ください。

### 【春の遠足（5年生：万博記念公園）】5月1日（金）

あいにくの雨での出発となりましたが、5年生は元気に遠足へ出かけました。電車を使い継いで万博記念公園へ。公園では、グループでオリエンテーリングに取り組み、「次はどこかな」と声をかけ合いながら協力して進む姿が見られました。お弁当の時間には、友達と楽しく会話をしながら、笑顔いっぱいのひとときを過ごしました。帰りは「ソラード」を歩き、緑のようすを感じながら空中散歩を楽しみました。公園では雨に降られることもなく、予定していた活動を行うことができました。帰りの電車では、お客さんが増えると、誰に言われなくても席を立てて他のお客さんにゆずる子どもたちが何人もいました。まわりを考えて自分から行動できる、すばらしい姿でした。

友達と声をかけ合いながら協力して行動する姿に、5年生の成長が感じられた、思い出に残る1日となりました。



※「校長室だより」カラー版は、本校ホームページ「配布文書」にアップしています。